

令和6・7年度 第2回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録

- 1 開催日時 令和6年10月2日（金）13時30分～14時35分
- 2 会 場 高津市民館11階 第4会議室
- 3 出席委員 角田部会長、下尾副部会長、大野委員、川口委員、志水委員、仙北谷委員、松崎委員、渡部委員
欠席者：なし
事務局：坂尾館長、岡部分館長、水野係長、下間係長、白井職員（記録）
傍聴者：5名
- 4 会議内容
 - 1 開会（進行：下間係長）
 - ・開催要件が満たされたことを確認
 - ・資料確認
 - ①令和6・7年度 第2回社会教育委員会議高津市民館専門部会 次第
 - ②令和6・7年度 社会教育委員会議高津市民館専門部会 名簿
 - ③川崎市社会教育委員会議規則（資料1）
 - ④令和6・7年度 第1回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録（資料2）
 - ⑤令和6年度 生涯学習支援課（高津市民館・橘分館）事業一覧（資料3）
 - ⑥川崎市市制100周年記念事業について（資料4）
 - ⑦川崎市高津市民館、川崎市高津市民館橘分館及び川崎市立高津図書館橘分館の指定管理予定者の選定結果について（資料5）
 - ⑧事業チラシ及び高津市民館だより・プラザ橘だより 全24枚
 - 2 館長挨拶
坂尾館長より挨拶。
 - 3 部会長挨拶
角田部会長より挨拶。
 - 4 議事事項（進行：角田部会長）
 - （1）第1回専門部会摘録（案）について
資料2を確認、修正等はなし。
 - （2）令和6年度高津市民館・橘分館事業計画について
水野係長より資料3をもとに説明を行った。
Q：橘分館のコミュニティカフェ「ふらっとひだまり」の毎回の参加人数が3～5人と少なく感じる。どれくらい来ることが理想的か。（松崎委員）
A：分館の規模感で行う仲間づくりのスペースのため、これくらいが適当であると思われる。
 - （3）市民館が関わる市制100周年記念事業について
水野係長より資料4をもとに説明を行った。
Q：謎走中のリーフレットは全校配布か。（松崎委員）
A：そのとおり。
Q：今年度からペーパーレス化、教職員の負担軽減などの理由で学校への事業チラシの

配布は一切なしと市から説明を受けたが、なぜ本件は受けてもらえるのか。（志水委員）

A：高津市民館の振興事業等については、志水委員の指摘どおり出来なくなっている。

100周年記念事業については校長会全体として了解いただいた。その先の実際に配布するかどうかについては各校の校長先生の判断に委ねている。

Q：事業チラシの配布ができなくなったことで広報に苦勞している事業者等が多い中、市の指導で制限されていることを、市民館はできる状況を疑問に思う（志水委員）

Q：事業チラシを配布できなくなり、代替として電子化する等の話は聞いてはいるが、最終的にどうしたら良いかという説明は受けていない部分がある。（角田部会長）

A：市の方針として、ペーパーレス、教職員の負担軽減等が示されているので、本来は配るべきものではなかったと感じている。市民館だから良いのではなく、市として統一的に取り組むべきことなので、今後、注意してやっていく。

Q：PTA協議会で聞いていることはあるか。（角田部会長）

A：①各学校でお知らせを配っても廃棄されることもあると聞いている。

②チラシにもITに向いているもの、向いていないものがある。「謎走中」は記入式でIT化には向いていないように感じる。

③各学校はWEB化されていて、保護者に広報を届けることは可能だが、PTAに加入していない家庭も1～2割はいるのでそこには届かない。そこに不公平感があるため、市の事業での利用は難しいだろう。（川口委員）

Q：紙のニーズがないかというそうではなく、紙で配布していた時とそうでない時を比較すると申し込みが3分の1以下に減ってしまった。

ギガ端末は告知するのは難しい、SNSは見えていない、イベントアプリは深く掘り下げていかないと見れない等で、結果として情報がほしい人に届かない。だから紙が良いかというのは別の話だが、紙は紙のメリットがあるので、申し込みが減ってしまったことについては紙を配れなかったというのが1つの要因と考えている。

事業チラシを配れることは当たり前のことではなく、苦勞している人がいることは理解してほしい。（志水委員）

A：承知しました。

（4）指定管理者について

坂尾館長より資料5をもとに説明を行った。質問等なし。

5 その他

（1）今後の開催日程について

第3回 令和6年12月4日（水）13時30分～15時30分
以上のとおり決定。

6 閉会

以上